

身の回りに起きた出来事など、楽しい情報をお寄せください。
●役場企画財政課 (☎611-2724)

※広報紙に掲載した写真を提供しています。希望する方は企画財政課へ問い合わせください。



キュウリを頬張り、採れたてのおいしさを楽しむ



キュウリ畑で収穫体験をする参加者

**古里の良さに関心深めて
地元学び塾(きゅうり編)開催**

地元学び塾(きゅうり編)を8月20日、町内のキュウリ畑などで行いました。町民22人が参加し、農作業の楽しさや農家の仕事などへ関心を深めました。

室岡の農家・村松孝美さん、美穂さん夫妻を講師に行いました。参加者は栽培方法などを学んだ後、村松さんが実際にキュウリを育てている畑へ移動。収穫体験ではアーチ状に伸びる畑を探し回り、食べ頃のキュウリを収穫していました。参加した高橋陽向君(煙山小3年)は「収穫は初めてだったけど、楽しかった。キュウリはマヨネーズをつけて食べるのが好き」と話しました。



町俳句大会の受賞者(左から)村井康典さん、熊谷房子さん、佐藤明彦さん、大平スイさん、兼平玲子さん

**町俳句大会を開催
大会賞に村井康典さん**

町は、9月18日に「第2回町俳句大会」故小原啄葉氏生誕の地」を開催しました。応募総数は町内外87人から257句(すべて事前)。大会賞は村井康典さん(盛岡市)の「海鼠食ふ男おそらく聞き上手」でした。

受賞者と作品(敬称略)

- ▼大会賞
村井 康典 (盛岡市) 海鼠食ふ男おそらく聞き上手
- ▼特別賞
熊谷 房子 (宮城県) 忘れ得ぬ握手のぬくみ啄葉忌
佐藤 明彦 (盛岡市) 句の話酒の肴に啄葉忌
大平 スイ (矢巾町) 盆の月山に預けし父母の墓
兼平 玲子 (盛岡市) 零歳と百歳のあて夏座敷
- ▼選者特選
工藤 幸子 (盛岡市) 不束な娘ですがと水羊羹
堀ノ内 和夫 (奈良県) どんど焼き村中の人取り囲む
三縄 美和子 (紫波町) 秋澄むやぐんと近づく南昌山
斎藤 正道 (福島県) 一言居士抜けて和らぐ焚火の輪
小山 尚宏 (一関市) 反抗も反発も無く竹婦人

この大会は、県の俳壇発展に貢献した名誉町民・小原啄葉氏(1921〜2020)の顕彰事業で昨年から実施しています。大会には入選作品の応募者のうち5人が参加し、高橋町長から各受賞者に賞状を授与しました。

町俳句大会で入選した作品の展示会を町内2施設で実施します。各施設をご利用の際は、ぜひご覧ください。お問い合わせは役場文化スポーツ課(☎611-2852)へ。

▼町公民館1階ロビー
9月27日(火)〜10月16日(日)
▼やはぱ〜く1階
10月24日(月)〜11月3日(木)

新型コロナワクチン接種 協力機関へ感謝状贈呈

新型コロナウイルス接種の推進に尽力した関係機関へ9月、高橋町長から感謝状を贈りました。贈呈先は次のとおり。▼①岩手医科大学(右から小笠原邦昭病院長、小川彰理事、祖父江憲治学長) ②紫波郡医師会(木村宗孝会長) ③岩手ダイハツ販売(大原博之社長)



わたしの主張・紫波地区阿部さんが最優秀賞

わたしの主張紫波地区大会は9月1日、町公民館で行われました。矢巾町と紫波町の中学生3人ずつ計6人が、日頃の学校生活などで経験したことなど、思いのたけを発表しました。阿部大雅さん(矢巾北中3年)が「打って反省、打たれて感謝」として剣道部での経験を延べ、最優秀賞に選ばれました。



町公民館で行われたわたしの主張紫波地区大会

町が締結した協定などを紹介(7〜8月)

協定締結の状況、企業からの寄付についてお知らせします。

**大東環境科学と協定締結
災害時における石綿測定調査**

大規模災害で損壊した建物などから石綿(アスベスト)が飛散することによる健康被害を防止するため、災害時の迅速かつ確実な調査を行います。【写真・左から】協定書を持つ小山克也社長と高橋町長

**広聴広報事業の充実へ
アナザーワークスと連携協定締結**

民間複業人材の活用に関する実証実験の一環で、町広報広聴計画の改善へ、民間有識者との協働により取り組みます。【写真・左から】協定書を持つアナザーワークスの大林尚朝社長、高橋町長

**東北ターボ工業から企業版ふるさと納税
町施策に有効活用**

本町に対する企業版ふるさと納税の第2号。家族全員が健康で笑顔がたえない笑顔づくり事業のため、有効に活用します。【写真・左から】企業版ふるさと納税を行い、生内一晶社長から目録を受け取る高橋町長

**いわぎんSDGs私募債を活用
サンクス・エクスプレスから寄付**

私募債発行により調達した資金の一部を町のSDGs推進のため寄付されました。【写真・左から】岩手銀行流通センター支店の櫻野智道支店長とサンクス・エクスプレスの伊五澤泰彬会長、高橋町長

